

66 資源調査・資源管理等

【4, 612(4, 902) 百万円】

対策のポイント

適切に資源管理を行うために必要となる資源調査等の実施、漁獲可能量の管理や資源回復計画の作成等を行い、資源回復等のために漁業者が自主的に行う減船・休漁等に対する支援等を行います。

<背景／課題>

・低位水準にとどまっている水産資源の回復・管理の推進が重要課題となっている中、資源調査・評価や資源回復計画の作成・実施等により科学的知見や漁業実態に則した適切な資源管理を行うことが必要。

政策目標

資源評価対象魚種のうち、中位又は高位水準の魚種の比率を増大。

<内容>

1. 我が国周辺水域資源調査推進事業費・国際資源対策推進事業費等

スルメイカ、マサバ、マグロ類等の主要な水産資源について、科学的知見に基づく適切な資源管理に必要な資源調査・評価等を実施します。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

2. 合理的資源管理推進事業費等

我が国周辺水域における資源回復計画の作成・実施や、漁獲可能量の適切な管理等を推進します。

補助率：定額、1／2以内
事業実施主体：民間団体等

3. 省エネ対応・資源回復等推進支援事業費（拡充）

資源回復及び漁業生産構造の再編整備を円滑に推進するため、漁業者が自主的に行う減船・休漁等に対して支援します。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

お問い合わせ先：

1の事業	水産庁漁場資源課	(03-6744-2377 (直))
2の事業	水産庁管理課	(03-3502-8437 (直))
3の事業	水産庁企画課	(03-3502-8415 (直))

資源調査・資源管理等の概要

平成22年度概算要求額
4,612百万円

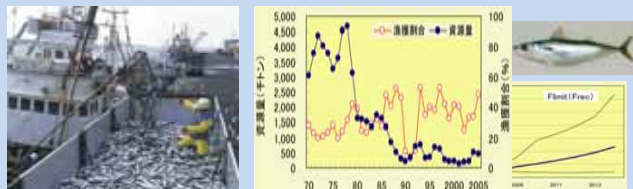
我が国周辺水域や公海等における水産資源の状況

資源評価を実施している水産資源のうち、半数程度が低位水準

⇒ **低位水準にとどまっている資源の管理・回復が重要な課題**

資源調査の着実な実施

- ・科学的知見に基づく適切な資源管理に必要な資源調査・評価等の実施



漁業情報収集

資源評価実施

管理を要する魚種

資源管理の着実な実施

- ・漁獲可能量等の適切な管理(TAC等)
- ・資源回復計画の作成・実施
- ・減船・休漁等に対する支援 等



効果の検証

水産資源の管理・回復